



カーボンニュートラルシティ 呉を支える企業の一つ 新日本造機(株)について

7月12日、新原呉市長や産業部長等が新日本造機株式会社（以下「新日造」という。）呉製作所を訪問し、同社の事業内容について迫田社長、渡辺呉製作所長等から説明を受け、製造現場を見学させていただきました。

カーボンニュートラルに貢献する呉の企業の一つです。中高生をはじめ、呉市民の皆様がこのことを誇りに思っていたいただきたいと思います。

新日造からの説明

新日造は、広海軍工廠の跡地を引継ぎ1951年に発足した廣造機(株)を起源とした、呉を発祥の地とする企業です。

高効率の蒸気タービン、プロセスポンプを同じ工場内で製作している世界で唯一のメーカーであり、これによりタービンとポンプの両方を最適な組み合わせで提供できることが大きな特徴であり強みでもあります。分散型（発電用）蒸気タービンの国内メーカーでのシェアは長年にわたって No.1 の地位にあり、世界納入国は80カ国以上に及び、それら納入先へも出向き、アフターサービス事業も行っています。

新日造の製品は、すべて呉製作所で設計・製造しており、高機能の工作機械やロボットの導入等により生産の効率化に取り組むとともに、熟練したエンジニアが1台1台に思いを込め、高品質を維持しています。これらの製品は、石油精製、石油化学、製紙、鉄鋼、食品工業、半導体など、さまざまな分野で使用され、産業基盤を支えています。また、バイオマス発電などや高効率な発電システムにも必要不可欠な製品であり、世界的な課題であるカーボンニュートラルの実現に向けても貢献しています。

市長コメント

新日造は、世界中に蒸気タービンやポンプなどの優れた製品を送り出している呉を拠点とする会社です。呉市のごみ焼却場（クリーンセンターくれ）の発電設備にも新日造の製品が使われていますし、同じ市内にある、三菱パワー株式会社とも協業し製品を納入しており、アジアを始めとする世界各国の環境課題解決にも貢献しています。

整理整頓の行き届いた工場内では、発電所向けのタービンやポンプが、職人たちの手で丁寧に組み立てられている様子も見受けられました。

また、呉市内の多くの中小企業から部品供給を受けることによって、地域の経済や雇用に大きな貢献をしていただいております。日本製鉄関連の離職者向け合同企業面接会にも受入企業としてエントリーしていただいております。

